



「すき」を通じた コミュニケーションを育む ー江戸川区発達相談・支援センターの取り組みー

江戸川区発達相談・支援センター
センター長 熊 仁美

自己紹介

熊 仁美（特定非営利活動法人ADDS共同代表）
江戸川区発達相談・支援センター長
博士（心理学）
慶應義塾大学社会学研究科訪問研究員・法政大学兼任講師

●発達心理学

人の生涯の発達を通じて、その心身のはたらきをどのように変化させていくか、その発達をどのように支援すればよいかなどを研究する学問です。

●応用行動分析学

人間の行動を科学的に研究し、人間理解・人間生活の様々な課題解決に取り組む学問です。人間の「行動」を「環境」との相互作用の視点から捉えます。

Our Mission



どんな発達特性があっても
すべての人が可能性を最大限に広げ
自分らしい暮らしを紡いでいける
地域をつくる



江戸川区発達相談・支援センター

- 平井駅から徒歩8分
- 区立小松川幼稚園の跡地に2020年4月開設



ライフステージに応じた
切れ目のない
相談・支援を
行います

指定管理受託
特定非営利活動法人

ADDS

Advanced Developmental
Disorders Support



MISSION

全ての発達障害の子どもが
可能性を最大限に広げ豊かな
人生を歩める社会の実現

略歴

2006年

慶應義塾大学発達心理学研究室発の学生団体を設立。
訪問型療育支援や学生研修を開始

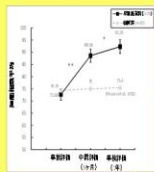
2009年

NEC社会起業塾の支援を受け事業化

2011年 法人化、児童発達支援事業開始

2016年 科学技術振興機構によるPJ採択

研究開発事業



児童発達・
保護者支援事業



支援者育成事業



センターの概要

児童療育事業

未就学のお子様を対象に、密度の高い個別指導と
保護者支援、ニーズに合わせた集団指導を行っています

利用に関するお問い合わせ ☎03-5875-5321

ぺあすく

親子共学型療育支援プログラム

- 1回80分 1年間
(前期6カ月週1回、後期6カ月隔週1回)
- セラピストによるお子様への直接支援
- 家庭でも療育を実践するためのペアレントトレーニング



パソコンやスマートフォンなどの
ICTを活用し、支援効果の
見える化を図っています。



1年間のぺあすく終了後は
就学まで右記のフォローアップ
支援をご利用できます

予約制コンサルテーション

- 最大月1回のコンサルテーションを提供

ピアグループ型個別指導

- 2、3名の個別指導 1回80分
- 1対1で対応することもあります

集団指導

ぺあすくと並行して（もしくは終了後）
集団指導を受けることができます

毎日通園クラス

- 9:30 - 12:30 原則週5日間のクラス
- 集団活動や給食など
- 生活リズムの安定や身辺自立の
習得を支援



短時間通園クラス

- 3～6名、1回60分 平日の午前・午後
- 集団適応やコミュニケーションを支援



スクールトライアル

- 3～6名、1回60分 平日夕方
- 就学に必要なスキルの習得を支援



発達障害相談事業

発達についての悩みや、
発達障害に関する相談に応じます

18歳未満の方の発達に関する相談

☎03-5875-5101 (発達相談室「なないろ」)

18歳以上の方の発達に関する相談

☎03-5875-5401 (発達障害相談センター)



計画相談支援事業

障害児支援サービスを受けるために
必要な支援計画を作成

保育所等訪問支援事業

訪問支援員が保育所等を訪問し、
集団生活の適応のための支援を実施

児童療育事業の料金

- 1回の料金（負担額）は所得に
応じて0円～1200円程度です。
 - 区が定める利用者負担上限月額
の範囲でご利用いただけます。
 - 3歳以上は無償化の対象です。
- ※計画相談支援事業は無料です。

支援者支援・啓発

支援者や保護者向けの講座、
市民への啓発を行います。

乳幼児施設等巡回
支援事業

出前講座

親支援講座

発達障害
啓発イベント

公開シンポジウム

事例検討会

(発達障害相談事業) 障害相談センターの事業



江戸川区
発達障害相談センター
発達相談室「なないろ」

ご案内



発達障害相談センター
対象：全年齢

支援者支援の事業

- ・ アセスメント 乳幼児施設等巡回支援事業
- ・ 連携
- ・ 環境調整を行う。普及啓発事業

発達相談室
なないろ
対象：
18歳未満

親子支援
講座

出前講座

医療相談



一人で悩まずに・・・まずはお電話ください☎



18歳未満の方の発達
に関するご相談



まずはお電話ください
「発達相談室なないろ」

☎ 03-5875-5101
月～金 9:00～17:00
(祝休日・年末年始を除く)

18歳以上の方の発達
に関するご相談



まずはお電話ください
「発達障害相談センター」

☎ 03-5875-5401
月～金 9:00～17:00
(祝休日・年末年始を除く)

江戸川区発達相談・支援センターでは、
専門の相談員が丁寧にお話を伺います

(児童療育事業) 児童発達支援センターの特色



保護者支援
の徹底



ICTの活用
と支援効果の見える
化



密度の高い
個別指導



親子共学型療育プログラム「ぺあすく」の流れ

週1回80分

1週間の振り返り・相談

OJT
型

療育実践タイム

ABAに基づく個別指導



E-learning講習(15分)



個別療育結果の報告

家庭療育練習タイム

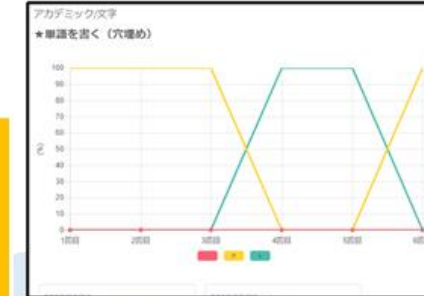
記録送信



家庭療育の実施

1週間

発達課題と教材共有



発達課題と教材共有

発達課題	教材共有	発達課題	教材共有	発達課題	教材共有	発達課題	教材共有	発達課題	教材共有
文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり	文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり
ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり	文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり
積み木積め	あり	文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり	文字のなぞり	あり
文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり	文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり
ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり	文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり
積み木積め	あり	文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり	文字のなぞり	あり
文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり	文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり
ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり	文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり
積み木積め	あり	文字のなぞり	あり	ちょうだいで要求	あり	積み木積め	あり	文字のなぞり	あり

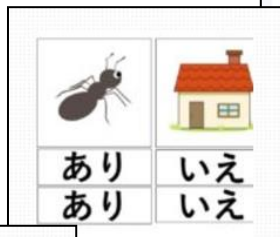


応用行動分析の理論を導入 記録とデータに基づいた意思決定をあたりに

600課題を含む発達俯瞰図による
直感的な発達評価・カリキュラム構成



学びのコンテンツ
(e-learning)



療育教材



基本俯瞰図		選択モード: ターゲット マスター													
オプション課題		スクールスキル 生活スキル 様々な運動													
学習基礎	自己統制	強化子の交換	強化子の回収	1試行1強化	ランダム強化	トークン (DTT)	カウントダウン	タイマー	おしまいの理解	まだだよ-なんで	順番言葉	写真スケジュール	文字スケジュール	トークン (日常)	
学習基礎	模倣-動作	手へのリーチング	手へのリーチング (色々な位置)	粗大模倣 (上半身)	粗大模倣 (身体部位)	操作模倣 (1選択)	操作模倣 (2選択)	微細模倣 (顔周り)	微細模倣 (手指)	立った状態の動き	模倣の維持	様々な全身運動	左右の分化	左右非対称	
学習基礎	模倣-音声	道具を介した口辺模倣	口辺模倣	単音模倣	単語模倣	連続した数や単語	句や文の模倣	リズム模倣 (音声)	プロソディ (大小)	プロソディ (高低)	プロソディ (抑揚や速度)				
学習基礎	注意・視覚性	追視 (物)	追視 (隠れた物)	追視 (指で追う)	手作業フラッシュ	エコフラッシュ	模倣フラッシュ	マッチングフラッシュ	動作指示フラッシュ	受容フラッシュ	命名フラッシュ	ランダム指示フラッシュ	瞬間提示		
学習基礎	遊び	感覚 (味わう)	感覚 (触る)	感覚 (聞く)	感覚 (見る)	身体遊び	玩具の操作	タブレット遊び	手遊び歌	ボール転がし	絵本読み聞かせ	やり返し	追いかけてこ	おもまご	
コミュニケーション	社会性	課題実施前の目合わせ	応答型共同注意 (指さし)	応答型共同注意 (首)	応答型共同注意 (視線)	観察反応 (声)	観察反応 (様々な呼びかけ)	社会的参照	始発型共同注意 (経験共有)	協調的動作	社会的強化への注目	内発的強化	ペアリング	並行遊び	
コミュニケーション	要求	リーチング (物)	援助要求 (クレーン)	援助要求 (手渡し)	要求のアイコンタクト	見えるものを要求 (サイン/PECS)	見えるものを要求 (音声)	どっちで選択 (指さし)	遠くのものを選ぶ	名詞の分化	2語文要求 (〇ちょうだい)	見えないものを要求	アカデミック文字	*単語を書く (穴埋め)	
コミュニケーション	受容-語彙	日常文脈での指示	ジェスチャー+物で反応	ジェスチャー無しで物に反応	名詞 (初級)	名詞 (離れたところ)	名詞 (探す)	キャラクター	人物	場所	動詞 (初級)	色			
コミュニケーション	受容-概念	物を器に入れる	持っているものを手渡す	指さされたものを渡す	タッチに反応	動作指示 (上半身)	動作指示 (身体部位)	動作指示 (顔周り)	動作指示 (手指)	2つの物を選択	2段階動作 (動作のみ)	2段階動作 (順番作業)	名詞 (中～上級)		
		ジェスチャー	名詞 (初級)	キャラクター	人物	場所	動詞 (初級)	身体部位	色	形	名詞 (中～上級)				
		2語文 (人×)	2語文 (色×)	事実の	疑問詞 (何)	見た物を報	経験報告	経験報告 (2)	疑問詞 (何)	経験報告 (2)	疑問詞 (何)	経験報告 (2)	疑問詞 (何)	経験報告 (2)	疑問詞 (何)

特許
出願中

-教育ソフトウェア領域-

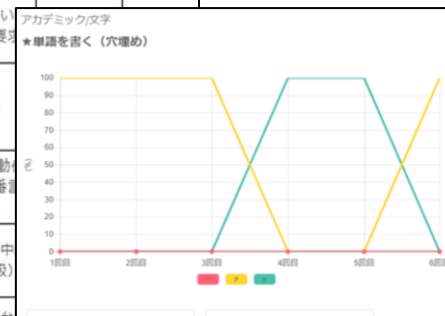
データ共有・連携



簡易な記録



療育結果の見える化



応用行動分析学（ABA）に基づいた関わり

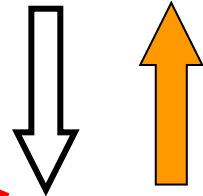
- 行動の法則性を明らかにする基礎学問「行動分析学」から派生した心理学
- Applied Behavior Analysis(ABA)
- 行動の原因を「個人の心の中」でなく、「個人と環境の関わり」に求める。

環境とは：
子どもの肌の外の出来事
全て

部屋の状態・声かけ・指示出し・教材…

環境

相互の関わり



ABAに基づいた支援

相互の関わりにアプローチする
① 環境からの関わりを変化
② 子どもの環境への関わり

子どもの様々な行動
(環境への関わり)

子どもの「こころ」をどう扱うか

こじん攻撃の
ワナ

いじわるしてる？



おこりっぽい性
格？

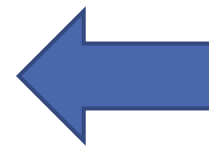
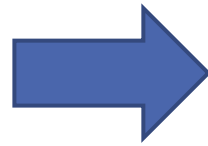
さびしいのかな？

行動の前後を分析しところを「みえる化」する

行動の前の出来事
(先行事象)

行動

行動後の出来事
(後続事象)



ママかまってよ！

ここを「3つの箱」でかんがえる 3項随伴性

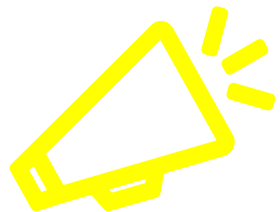
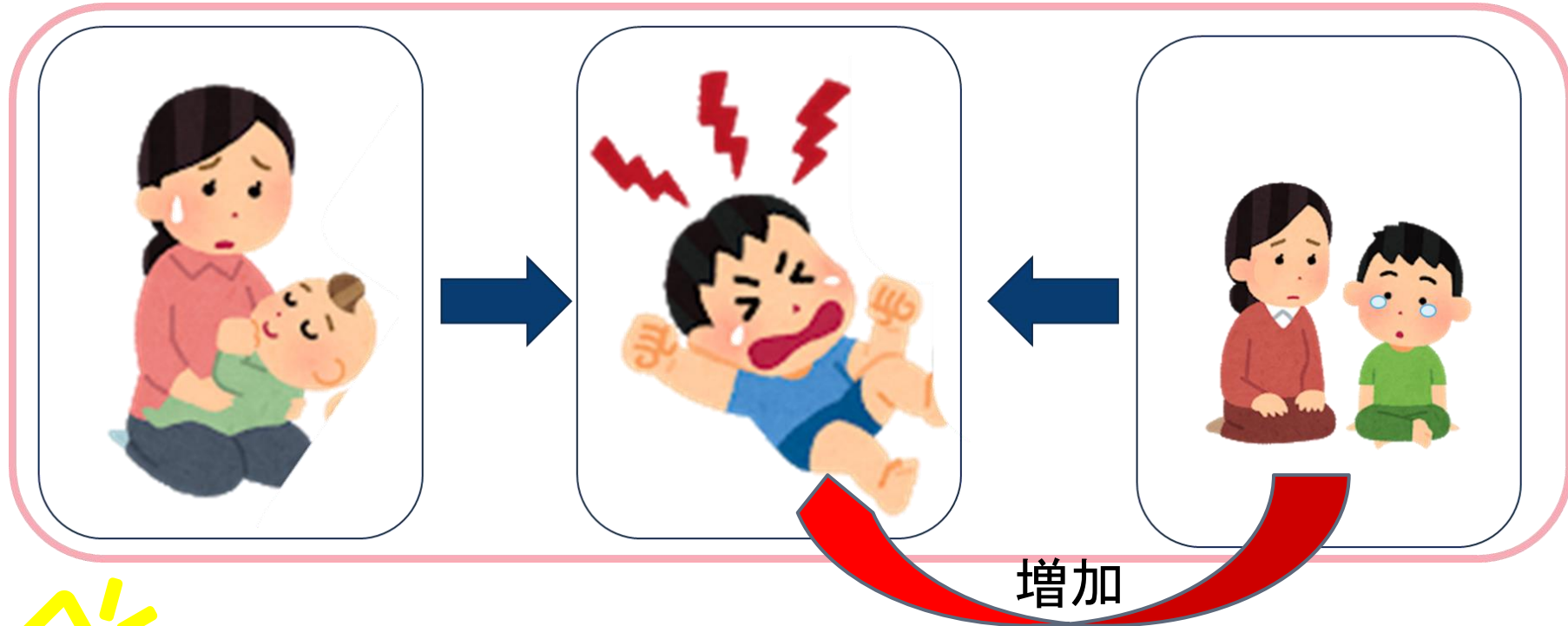


ママかまってよ！

行動のきっかけ

行動

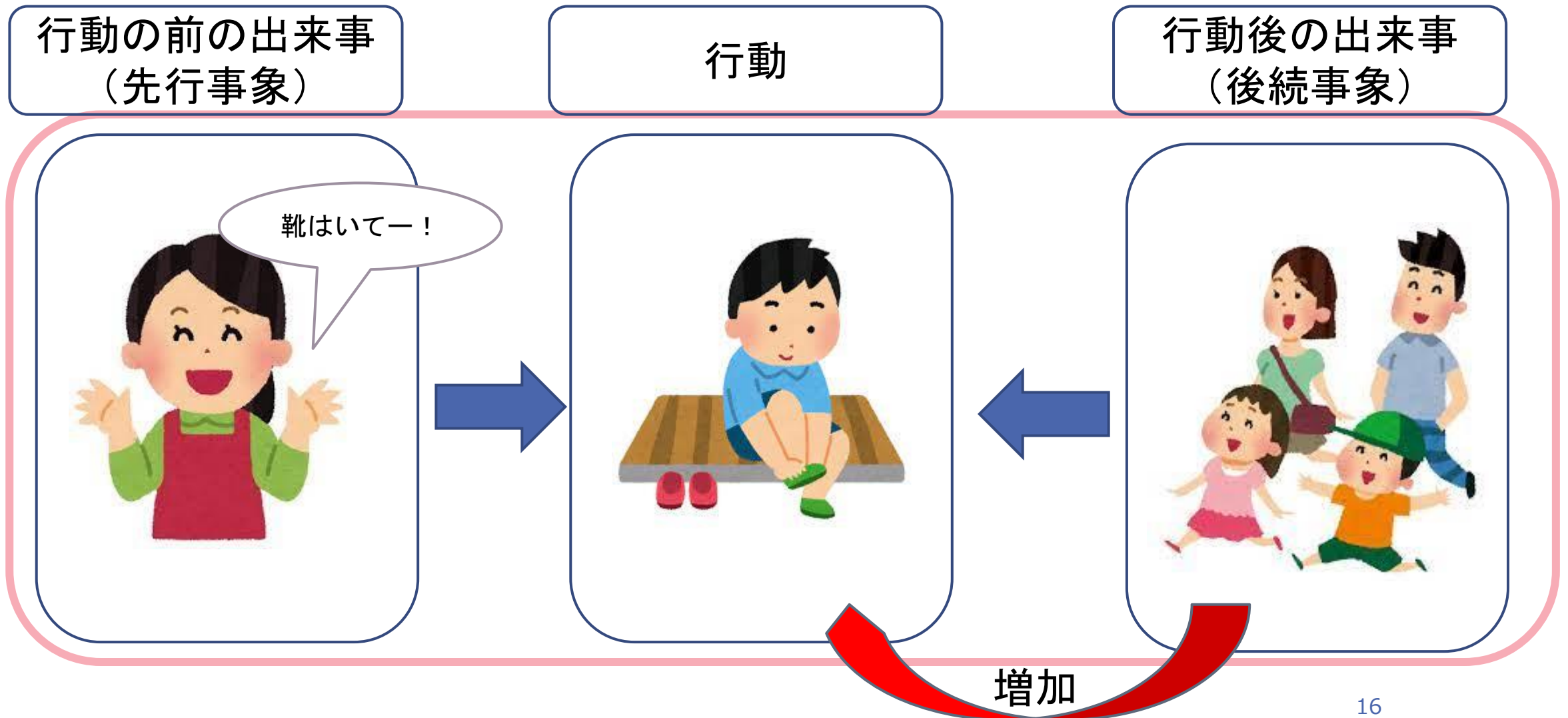
行動後のできごと



注意

行動の「形態」にとらわれてはいけない⇔「機能（働き）」が重要

行動の後の「すき」が行動を増やす



応用行動分析に基づいた早期発達支援の指導タイプ

<Discrete Trial Teaching; DTT>

- ✓ デスクなど構造化された場面
- ✓ 集中的な学習機会の設定
- ✓ 文脈と関係のない強化も活用
- ✓ 知識や行動のレパトリーを『増やす』
- ✓ Lovaas博士の早期高密度介入 (EIBI)研究で成果 (1987) .

般化
機能化



基盤
形成



<Naturalistic Developmental Behavioral Interventions : NDBI>

- ✓ 自然に近い場面（遊び場面）
- ✓ 文脈に合った課題設定と強化
- ✓ 知識や行動レパトリーを『機能的に使う』
- ✓ ESDM, JASPER, PRTなどが含まれる

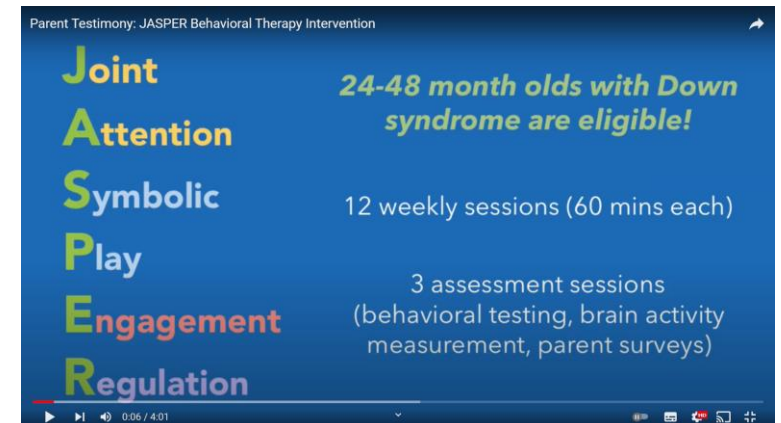


環境調整
(TEACCHI)

ペアレント
トレーニング

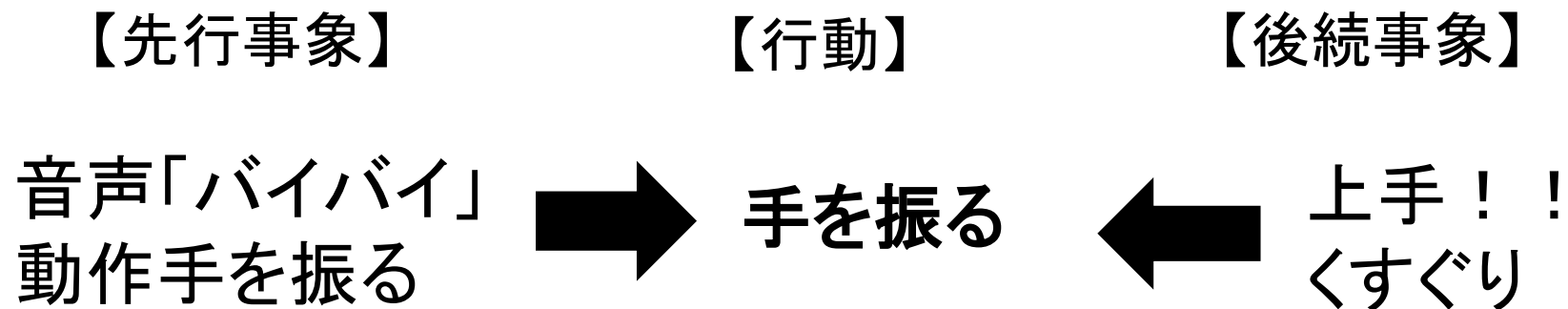


日常場面での工夫
機会利用型指導

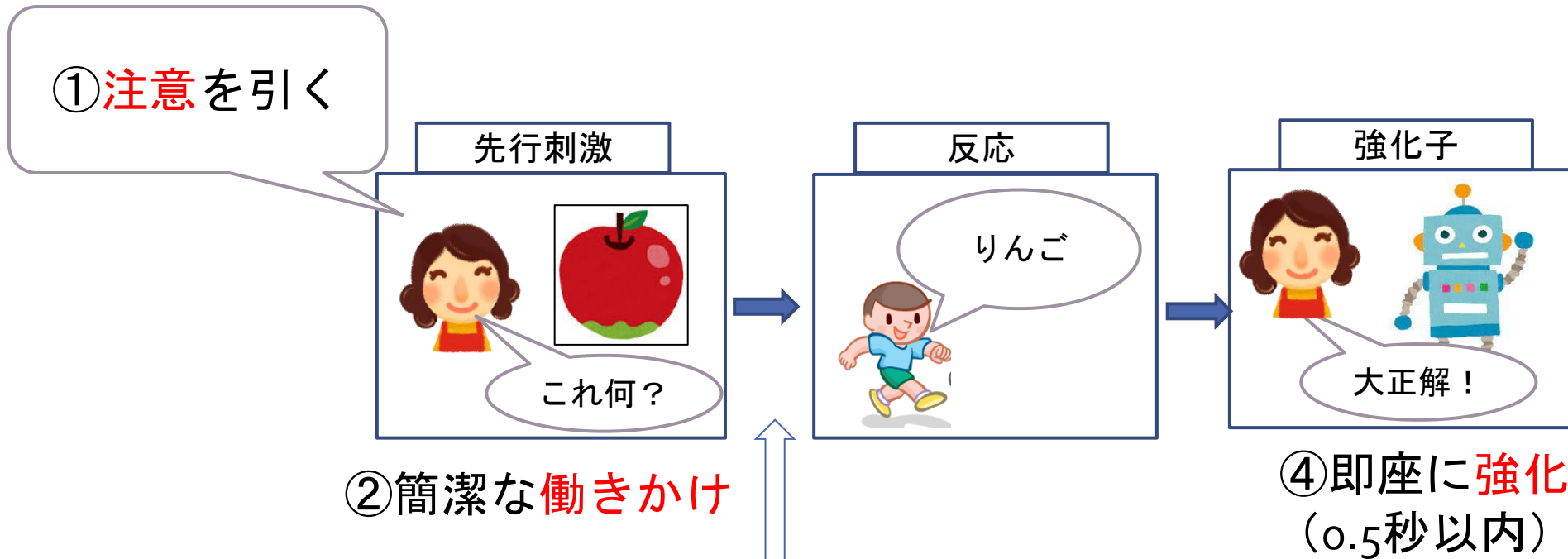


DTT (Discrete Trial Teaching) とは

- 日常場面より簡潔な「先行事象」と「後続事象」を整え
- ターゲット行動を明確にする。
- 分かり易い3項随伴性を素早く繰り返すことで、集中的に学習の機会を設定する。



DTTにおける支援のポイント



③手助けヒント（プロンプト）
→徐々にフェードアウト

記録をつけ、指導の効果を
を把握しながら進める

基本的な手続き

<課題例>

「コップちょうだい」という音声指示を聞いてコップのおもちゃを手渡す。

子供の反応
コップを手渡す

S D（先行刺激）→ R（反応）→ S R +（強化）

働きかけ「（机の上にコップを提示して）コップちょうだい」

お助けヒント（身体ガイドor指さし）

褒める「すごいじょうず！」
（お菓子や玩具を提示したりくすぐる）

トライアルを重ねるごとに**フェーディング**する（徐々になくしていく）。

お助けヒント（プロンプト）

- ◆子どもが確実に正答し、成功体験につながるよう、お助けヒントを出す。＝「**プロンプト**」
- ◆黒子のように、さりげなく。
- ◆プロンプトは徐々に少なくしていく。
＝「**フェーディング**」

プロンプトの例)

- ☐ 身体プロンプト（身体ガイダンス）
- ☐ 音声プロンプト
- ☐ 視覚プロンプト

即座に強化「すき」を活用し行動を増やす



誉め言葉



身体遊び



抱っこ



お出かけ



スタンプや
シール



タブレットや
ゲーム



食べ物や
飲み物



玩具



注目



遊び・活動

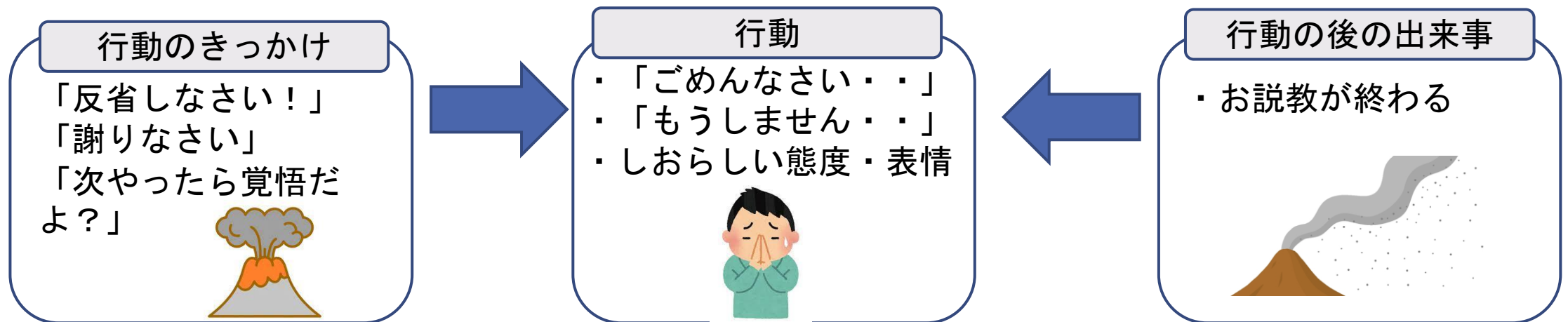
すきをご褒美に活用するのはあり？なし？ ー応用行動分析の知見から

- ポイント1 最初はふんだん→**少しずつ減らす**(フェーディング)
(外発的動機づけ→内発的動機づけ)
- ポイント2 **社会的な刺激**と組み合わせることが重要
- ポイント3 こどもの**多様性**にあわせたご褒美を設定
- ポイント4 ご褒美の効果=子どもの**行動の変化**が全て

！ ○しないと、○させない、という脅しに使わない！

「反省」「脅し」は「回避」や「隠す」行動につながる

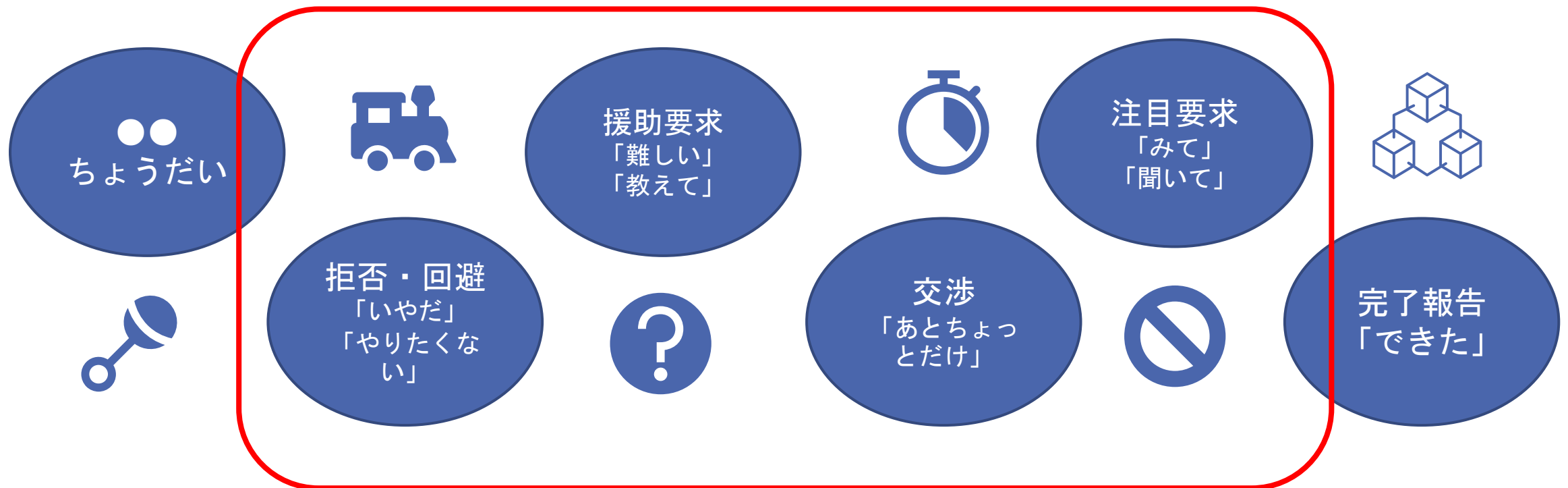
- 一次的な反省や脅しは、苦手な状況、嫌な状況からの**回避**にとどまる
- 時間的なスパンが長すぎる＆具体的にどう行動するべきかが曖昧で伝わらない
- 大人側の**期待**から**叱責**につながりやすい（あの時ああ言ったのに！） = **失敗体験を量産**
- 責められるー**隠す**ようになるー失敗を重ねるー**自己肯定感**が下がる・・・長期的デメリットが大きい
- 「**適切な行動**」を教える機会と「成功体験」をともに作ることが重要
- 「すき」のポジティブな動機づけを活かした支援を





「きれい」「いや」も大切にする -優先順位の高いスキル

様々な要求を自発できるよう教える（援助を適切に求めるスキルが育ちにくい）



要求語（マンド）トレーニング



①マンドトレーニングとは？

他者とのコミュニケーションスキル獲得の基盤として行う**要求言語**の表出訓練

②なぜマンドから言語を引き出すトレーニングを行うのか？

要求と直接関連した言葉＝**モチベーション(動機付け)**が高い。

言葉に関連して強化されるので、言葉の使い方を1番効率的に教えることが可能

* 他者に要求を伝える手段全てを含みます。

例 お母さんの手を引っ張る、絵カードを渡す、頂戴サインをする



様々な 要求行動

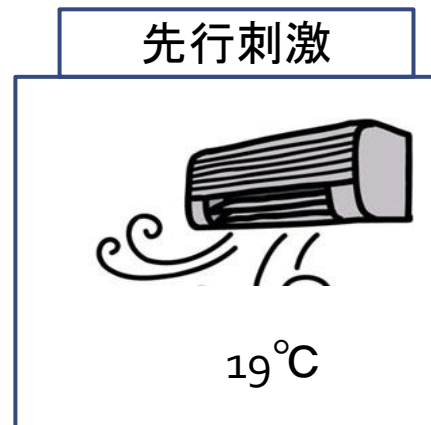


強化子の遮断



強化子の獲得

物/活動の要求



嫌悪的な出来事



嫌悪的な出来事の除去

否定の要求



様々な 要求行動



情報要求



注目要求

失敗から学べる状態を目指し、「今、ここ」の成功体験を

失敗体験



試行錯誤・挑戦・努力

- 失敗の原因がわかる
- 代わりの行動レパートリー（手札）がある
- 挑戦する意欲がある
- 努力が実を結んだ経験がある

成功体験



挑戦/学びの土台

たくさんの成功体験



- たくさんの行動の獲得（認知・言語機能の発達）
- 自分の行動をコントロールする力の発達
- 他者からの承認だけでなく、達成感が活動の源になる
- 新しいことに挑戦する意欲が育つ



成功体験が少ないと……

失敗体験



試行錯誤・挑戦・努力の力

- 失敗の原因がわかる
- 代わり、やりかたがわかり、やってみようができる
- 挑戦する意欲
- 努力が実になる経験がある

成功体験



挑戦/学びの土台

学び残しが多く、この土台が不安定（社会への不信）
ほめられ経験が少なく、意欲そのものが低い
代わりにどうすればよいかわからない、ことも多い

意欲が育つ

かんばうう！

大人になったときを見据えてー「すき」は1番の強み



✓選択や要求が出せる

自分のしたいこと、したくないことをきちんと選べる、意思表示できることが重要。コミュニケーションの基本

✓周囲に援助を求められる

できないことがあってよい。失敗も隠さなくてよい。周囲から助けてもらったらうまくいった、という成功体験の積み重ねが鍵。

✓楽しみをもって生きる

「好き」があるというのは非常に大きなつよみ。生活を楽しめる大人に

幼少期に「すき」を通じて他者とのよい相互関係を積み上げる
＝社会への安心・信頼感